

事業番号	09 04 40	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	漁業指導事業			担当課	部局	農政部	
					課・局・室	園芸畜産課	
					E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト			実施期間	S25 ~		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

## 1 事業の概要

目指す姿	漁業協同組合による河川環境の保全と漁場の利用促進等を図り、漁場が魅力ある地域資源となるようにする。また、漁場を活性化することにより、漁業協同組合の経営の安定化と適切な漁業権の管理、行使を図る。							
現状 (予算編成時)	アユ等の不漁等により、遊漁者や漁業者が減少し、漁協の経営は厳しい状況に置かれている。							
県が関与する理由	県でなければ実施不可 (法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 内水面漁場管理委員会: 漁業法第130条、地方自治法第180条の5 組合検査: 水産業協同組合法第123条 協議会開催: 内水面漁業の振興に関する法律第35条						
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)							
	○漁場の総合的な利用や漁業生産の発展を図るため、内水面漁場管理委員会を3回開催する。(例年どおりの開催回数で設定) ○漁協の法令遵守と健全な運営を図るため、10漁協の検査を実施する。(県内30漁協の内、園芸畜産課の検査を平均して3年に1回行うようにしていることから設定)							
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29	
					(当初)	(決算)	(当初)	
	1	内水面漁場管理委員会の運営	直接	・内水面漁場管理委員会の開催(3回)	1,218	950	1,218	
	2	漁業指導調整事業	直接	・漁業協同組合の法令遵守等の指導(国庫1/2)	260	346	257	
	3	組合検査指導事業	直接	・漁業協同組合の業務、会計状況の検査(10漁協)	38	95	53	
	4	漁場利用調整事業	直接	・漁業権者の申出に基づく協議会の開催(国庫1/2)	40	0	40	
				合計	1,556	1,391	1,568	
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度			
	予算額	前年度繰越						
		当初予算	1,567	1,556	1,568			
		補正予算						
		合計(A)	1,567	1,556	1,568			
	Aの財源	一般財源	872	864	876			
		県債						
		国庫支出金	664	664	664			
		その他	31	28	28			
	決算額(B)	1,318	1,391					
概算人件費	職員数(人)	0.90	0.90	0.90				
	概算人件費(C)	7,448	7,123	7,123				
	概算事業費(B(A)+C)	8,766	8,514	8,691				
成果目標の達成状況		項目	H26末	H27末	H28		H29	
					目標	成果	達成状況	目標
		委員会の開催	3回	3回	3回	3回	達成	-
		組合検査の実施	10漁協	10漁協	10漁協	10漁協	達成	13漁協
目標に対する成果の状況		内水面漁場管理委員会を開催し、水産動植物の資源保護や漁場利用の効率化を図ると共に、漁業協同組合の検査により業務、経営改善を進めることが出来た。						

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	漁場が魅力ある地域資源となるように、内水面漁場管理委員会の運営や漁協の常例検査の実施を通じて、漁業協同組合による漁場の利用促進及び河川環境の保全等を図っていく。